

# 三段目〜序の口

育成会も変則開催となり四日目と千秋楽が開催された。三段目の四日目は三日目を取り終えて三戦全勝の四力士による事実上の準決勝戦となり、三国と戸田、島内と若今津が対戦。

先ずは島内と若今津が対戦。立ち合いの鋭い出足から島内が胸を合わせ、左を伺いながら土俵一周攻め込み若今津の押つけをかき分け、左を差すもそれから左の足が出ず若今津が引き落しに降す。



三 国○(寄り切り)●戸 田

番は立ち合いで厳しい当たりを見せた三国が素早く左を差し、戸田には相撲を取らせず正面に寄り切って4連勝とした。



若今津○(引き落し)●島 内

迎えた千秋楽は三国と若今津との全勝決戦となった。西筆頭の三国はすでに幕下昇進を確定しているが優勝を手土産に、若今津も五戦全勝で来場所を幕下入りの足がかりにしたところ。そんな両者の思惑が交錯する優勝の争いが、立ち合いのかかる一番、鋭い出足で押し込み若今津には攻め入る隙を与えず差のまま白房下に寄り切った。



三 国○(寄り切り)●若今津

奇しくも先場所同じ番付で優勝し幕下入りを決めた黒田に続き香具山部屋が二場所連続で三段目の優勝に輝いた。四枚目の山下も4勝を上げ二人揃っての幕下入りとなる。

勝ち越しを決めた幕下の三人に続き、育成会の力士も全員勝ち越しの躍進に期待が高まる。

序二段も三戦全勝で勝ち残った4力士、蛮国と洪野が東灘と椎乃橋がそれぞれ全勝対決した四日目。先ずは東灘と椎乃橋が対戦し、東灘が得意の左差しから



蛮 国○(押し倒し)●洪 野

寄り切りに退けると素早く蛮国が洪野には左を差させず押し倒しに降す。蛮国は東灘が優勝に降し蛮国と東灘が優勝に降す。



東 灘○(寄り切り)●椎乃橋

4戦全勝同士の決戦となった千秋楽、春日根部屋再生工場への出稽古で力をつけて来た蛮国だが、相撲巧者の前にはここまでかかと東灘が有利との大方の予想のなか両者立ち上がった。

しかし立ち合いから激しい差し手争いを見せると、予想を覆す様になると蛮国が左を差しして堂々寄り切りを降す。さかの番狂わせで育成会九場所目にして活躍に期待したい。



蛮 国○(寄り切り)●東 灘

郡山から改名して今場所に挑んだ巨鵬。四股名が示す様に友砂親方からは大いに期待がかかっていたが、勝ち止まりで更なる活躍は来場所にお預けとなった。

序の口は三日目を取り終えて逆起、岡田、赤安の三名が3戦全勝とし、迎えた四日目は赤安が一敗ながらも実力のある西強と対戦。立ち合い踏み込み勝った西強がのど輪を凌ぎ

ながら土俵半周攻め込み左を向うところ赤安の逆起の押し倒しに破って



岡 田●(寄り切り)○逆 起

依に一気に寄り切りに降す。岡田には無抵抗で赤安による



西 強●(押し倒し)○赤 安

全勝同士の対戦となつた逆起と岡田との一戦では立ち合いを制した逆起が左に寄せながら前に攻め込むと、岡田には無抵抗で赤安による



赤 安○(押し倒し)●逆 起

力強く押し倒して堂々優勝を飾った。

序の口に陥落し後の無くなった今場所、初日から三連勝したのにも驚いたが誰が優勝まで予想したのだろうか？鴨川部屋だ一人の力士だけにその見事なまでの復活劇を果たした川親方を喜ばせる事だろうか。来場所も今場所同様の活躍で早く育成会を卒業して更に親方を喜ばせてほしいものだ。

そんな美酒に酔う赤安とは裏腹に、同じく部屋ただ一人の力士として頑張ってきた秋月部屋の讃岐富士。二連勝の好発進で期待されたが三日目に黒星を喫するとずるずると三連敗して廃業が決定し秋月部屋の力士が番付から姿を消す結果となった。

錦風部屋の新弟子、逆起と磐若は親方から期待を寄せられて二代目、三代目としてお気

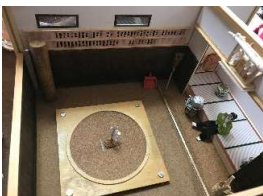
に四股名を命名。錦風部屋の伝統を重んじる後援会の反対を押し切った勝ちにこだわった新弟子は、逆起が千秋楽まで優勝を争い、磐若も勝ち越しを決め親方を喜ばせる活躍。そんな錦風旋風が来場所も育成会の土俵を賑わせるのか。

地方部屋は大松戸部屋の大神、住之江部屋の金谷の二人が勝ち越しただけに終わり、今場所も厳しい結果となった。なかでも毎場所凝った四股名で定評のある播磨部屋の華彪から調子が良さそうとの情報があっただけに播磨屋親方も肩を落としている事と思われる。本場所での力士の動きを直接見れないハンドレを乗り越え、新弟子の活躍を願うばかりだ。

(香具山)

## 桐壺部屋、初公開

変則開催となったこの日は更に驚かされる事があった。桐壺親方が各親方にお披露目するために、桐壺部屋を持参。豪華な桐の箱を開けると、なんと組み立て式になっており四隅に柱を立て柱の切り込みに合わせて壁を挟み込むと立派な部屋のように



(香具山)